

「ラウドネスサミット 東京」の開催について

一般社団法人電波産業会 (ARIB) は、社団法人日本民間放送連盟 (NAB) との共催により、2011 年国際放送機器展 (Inter BEE 2011) 期間、国際会議場および同展示会場内において「ラウドネスサミット 東京」を開催します。

放送番組における聴覚上の音量差はこれまでも問題とされてきました。地上と衛星など放送波単位に限らずチャンネル単位、さらには番組単位でも音量差の問題は存在しています。この問題を解決し、視聴者にとってより良い視聴環境を実現するために電波産業会は本年 3 月、ARIB TR-B32 「デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定」技術資料を策定しました。これによりデジタル放送時代に相応しく、国際勧告でも採用されたラウドネスの導入が始まりました。

しかしながら未だラウドネスに関する関係者の理解は薄く、本運用規定を周知させて普及促進するためには、番組制作会社や放送局及びメーカーなどの放送関連業界への啓発活動が必要と考えています。

本ラウドネスサミットでは、ラウドネス導入の背景、ラウドネスの諸規定及びラウドネスメータ使用法をテーマとした「ラウドネス・シンポジウム」や、ポストプロダクションでの制作技術及び放送局での実運用の紹介と、放送外分野の有識者を交えたパネルディスカッションを繰り広げる「ラウドネス・ワークショップ」を予定しています。

放送関係者や音声専門家のみならず、多くの方の参加を心からお待ち申し上げております。

記

- 1 日程 : 平成 23 年 11 月 16 日 (水)、17 日 (木)、18 日 (金)
- 2 会場 : 「2011 年国際放送機器展」国際会議場および展示会場 (幕張メッセ)
- 3 共催 : 一般社団法人電波産業会、社団法人日本民間放送連盟
- 4 後援 : 日本放送協会、一般社団法人電子情報技術産業協会、社団法人日本ポストプロダクション協会、協同組合日本映画・テレビ録音協会、社団法人日本映画テレビ技術協会、社団法人日本音楽スタジオ協会、サラウンド CM 研究会
- 5 協力 : 一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会、ラウドネスメータ協議会
- 6 プログラム : ラウドネス・シンポジウム (国際会議場会議室)
聴講料無料 事前登録が必要です
<http://www.inter-bee.com/ja/conference/>
ラウドネス・ワークショップ (展示会場内特設会場)
参加料無料 事前登録は不要です
(プログラム詳細は 別紙 1 及び 別紙 2 を参照)
- 7 問合せ先 : 当会 松本 (TEL:03-5510-8597 e-mail:h-matsumoto@arib.or.jp)

ラウドネス・シンポジウム

会場：「2011年国際放送機器展」国際会議場（幕張メッセ）

聴講料無料

下記サイトより事前登録が必要です

<http://www.inter-bee.com/ja/conference/>

11月16日（水）	15:00～16:30	国際会議場 2F	国際会議室
11月17日（木）	10:30～12:00	国際会議場 1F	101 会議室
11月18日（金）	10:30～12:00	国際会議場 1F	101 会議室

ラウドネス・シンポジウムでは、ARIB TR-B32「デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定」の策定に至った背景と、民放連 T032「テレビ放送における音声レベル運用規準」のご紹介を中心に、ラウドネスの諸規定やラウドネスメータの使い方などをご説明いたします。

■プログラム（各日とも共通です）

① なぜ、ラウドネス運用規定は必要だったのか

講師：

仁平 成彦 氏（株式会社エフエム東京 マルチメディア放送事業本部副本部長）11月16日・18日

寿田 道陽 氏（株式会社TBS テレビ 技術局音声技術部部長）11月17日

② ラウドネス運用規定策定に向けたこれまでの取り組み

講師：

岡本 幹彦 氏（日本放送協会 制作技術センター番組制作技術部専任部長）11月16日

小野 一穂 氏（日本放送協会 放送技術研究所テレビ方式研究部主任研究員）11月17日

仁平 成彦 氏（株式会社エフエム東京 マルチメディア放送事業本部副本部長）11月18日

③ 民放連技術規準 T032 の概要

講師：

松永 英一 氏（株式会社フジテレビジョン 制作技術センター エグゼクティブエンジニア）

④ ラウドネスメータはどこに誰に必要か？

講師：

成松 深 氏（株式会社テレビ朝日 技術局放送技術センター）

⑤ ラウドネスメータの使いこなし

講師：

入交 英雄 氏（株式会社毎日放送 放送運営局送出部マネージャー）

ラウドネス・ワークショップ

会場：「2011 年国際放送機器展」展示会場内特設会場（幕張メッセ）

参加料無料 事前登録は不要です

11月16日（水）	10:30~11:10	セッション 1	：ラウドネスメータ基礎講座
	11:30~12:10	セッション 2	：ポストプロダクションでは？
	13:00~13:40	セッション 3	：放送局での運用
	14:00~14:40	SP セッション 1	：映画では？
11月17日（木）	12:10~12:50	セッション 1	：ラウドネスメータ基礎講座
	14:40~15:20	セッション 2	：ポストプロダクションでは？
	15:40~16:20	セッション 3	：放送局での運用
	16:40~17:20	SP セッション 2	：音楽では？
11月18日（金）	12:30~13:10	セッション 1	：ラウドネスメータ基礎講座
	13:30~14:10	セッション 2	：ポストプロダクションでは？
	14:30~15:10	セッション 3	：放送局での運用
	15:30~16:10	SP セッション 3	：TV と各種メディア

ラウドネス・ワークショップでは、実際の運用事例を交えながら、より実践的にラウドネスを解説いたします。「ラウドネスメータの基礎講座」、「ポストプロダクションにおける技術」及び「放送局における実運用」などのテーマに焦点を当てたパネルディスカッションと、映画・音楽・ケーブルテレビ・インターネット・パッケージなど放送に限定せず、さまざまなコンテンツやメディア界の方々をお招きした対談を行います。

■セッション 1：ラウドネスメータ基礎講座

そもそも「ラウドネス」って何？ラウドネスメータってどんな装置？

ラウドネスメータの基礎知識について、ARIB TR-B32 を基に実際の機器を使って解説いたします。

講師：

岡野 充男 氏（日本放送協会 技術局番組施設部専任エンジニア）11月16日

小野 良太 氏（日本放送協会 放送技術局番組制作技術部専任エンジニア）11月17日

古賀 則行 氏（日本放送協会 放送技術局中継部）11月18日

■セッション 2：ポストプロダクションでは？

ラウドネス運用によってポストプロエンジニアが直面する問題は何か？

運用規定の解説に始まりミキシング手法までを、実際の映像素材を使って実験いたします。

講師：

村越 宏之 氏（株式会社 IMAGICA デジタルプロダクション部課長 サウンドスーパーバイザー）

喜多 真一 氏（ソニーPCL 株式会社 ビジュアルソリューション部 サウンドエンジニア）

永田 秀之 氏（株式会社杏九九 代表 サウンドプロデューサー）

■セッション3：民間放送局での運用

ラウドネス運用を行うために民間放送局はどのような対応が必要なのでしょうか？

NAB 技術規準 T032 概要の解説、放送局におけるワークフロー、さらには生放送への対応方法などを中心に
にご説明いたします。

講師：

岩橋 貞成 氏（朝日放送株式会社 技術局制作技術センター制作技術部）11月16日

平野 直樹 氏（日本テレビ放送網株式会社 技術統括局放送技術センター放送実施部）11月17日

寿田 道陽 氏（株式会社TBSテレビ 技術局音声技術部部長）11月17日

山田 昭廣 氏（名古屋テレビ放送株式会社 技術局映像技術部）11月18日

■SPセッション（スペシャル・パネルセッション）1：映画では？

1990年初頭のデジタル化移行とともに、映画音響では本編・予告編間に激的なレベルジャンプが生じる問題に直面しました。その時の解決事例を振り返り、これからの時代のメディア横断型の映画音響技術に対する意気込みを、若きプロフェッショナルが語ります。

モデレータ： 高木 創 氏（株式会社東京テレビセンター 音響制作技術部）

パネラー： 室蘭 剛 氏（東映株式会社 デジタルセンターポスプロ事業部）

大河原 将 氏（有限会社アルカブース）

中嶋 克 氏（アオイスタジオ株式会社）

■SPセッション（スペシャル・パネルセッション）2：音楽では？

音楽制作におけるラウドネスはどうあるべきなのでしょうか？

CDなどのパッケージメディアから、モバイルプレーヤへと音楽の楽しみ方は変化してきました。それとともに「音量」の捉え方はどう変化してきたのでしょうか？

また、ミュージックビデオやコマーシャルなどではどう考えられているのでしょうか？

レコーディング、マスタリング、MAなど様々な場面におけるラウドネスについて検証します。

モデレータ： 亀川 徹 氏（東京藝術大学 音楽学部音楽環境創造科 教授）

パネラー： 川崎 義博 氏（株式会社ポニーキャニオン 制作技術部レコーディングエンジニア）

井筒 康仁 氏（株式会社丸二商会 マルニスタジオ）

河野 洋一 氏（株式会社サウンドインスタジオ）

■SPセッション（スペシャル・パネルセッション）3：TVと各種メディア

視聴者は放送番組に限らず、様々なコンテンツをテレビ画面で楽しめます。しかし現在、放送以外のメディアでのラウドネス基準はありません。放送業界に留まらずメディア・コンテンツの各業界の方々をお招きし、

それぞれの業界事情や今後向かうべき方向を議論し、「視聴者にとってより良い音の体験とは」を探ります。

モデレータ： 由雄 淳一 氏（パイオニア株式会社 主幹研究員（JEITA TA11 対応標準化 G 主査））

パネラー： 川崎 義博 氏（株式会社ポニーキャニオン 制作技術部レコーディングエンジニア）

池上 卓也 氏（株式会社USEN 番組制作部番組管理課課長）

武井 克明 氏（株式会社パワープレイ 代表取締役）

山添 亮介 氏（株式会社ジュピターテレコム 上席執行役員 技術部門副部門長）

瀬津丸 勝 氏（株式会社セガ 第一 CS 研究開発部サウンドクリエーター）